

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月20日		記入者	内線	2515
部名	市民部	課名	市民生活課	課長名	中野 清
事務事業名	地域市民まつり助成事業				
予算上の事務事業名	地域市民まつり助成費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		17110		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第7章 個性豊かなコミュニティづくりを進めます				
基本施策名	第1節 市民主体のまちづくり				事業開始年度
施策名	第1施策 個性豊かな地域づくり				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
相模原市地域市民まつり等助成金交付要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 啓発・広報・イベント ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
地域における市民まつりの開催に助成 することにより、心のかよひあう明るいまちづくりを推進する。			公民館区(相模台、上溝)を除く		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
負担金補助及び交付金 5,050,000円 @250,000×17地区 @400,000×2地区(光が丘・大野中) 相模台、上溝を除く21公民館区で実施 負担金補助については、1公民館区250,000円であり、光が丘公民館区は、陽光台地区と合同、大野中公民館区は、大野台地区と合同で行っているため、1公民館分の事務費を除く額(400,000円)とした。 参加人員総数 123,410人 各地区様々な催しが実施されており、それぞれの地域のコミュニティづくりに成果を上げた。					
6 関連・類似事業や他市の状況					
他自治体も同様な目的で実施しているが、実施回数や助成額は他自治体より充実している。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	6,826	5,550	4,906	5,050	5,050
一般財源	6,826	5,550	4,906	5,050	5,050
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	839	801	807	807	807
事業コスト合計(a)	7,665	6,351	5,713	5,857	5,857
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	地域市民まつり助成事業			対象名称(単位)	参加人数
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	7,665	6,351	5,713	5,857	5,857
対象数	130,680	133,563	123,410	129,200	129,200
単位あたり経費(円)	59	48	46	45	45
前年度比		0.81	0.97	0.98	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	参加人数		指標式と指標の説明	参加者数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	130,680.0	133,563.0	123,410.0			
目標	133,000.0	133,000.0	133,000.0	133,000.0	133,000.0	
目標達成度	0.98	1.00	0.93			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	参加率		指標式と指標の説明	参加人数/総人口×100 参加している人の割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	21.3	21.7	19.9			
目標	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	
目標達成度	71.1	72.3	66.3			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]						
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]						
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[] : 良好な状態を維持する事業					
	[] : 概ね良好な状況である事業					
	[] : 見直しを行う必要がある事業					
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 助成事業の継続を図る。			14 課題として認識されたこと なし			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				